

現在の森林研究所の概要

1 運営方針及び重点課題等

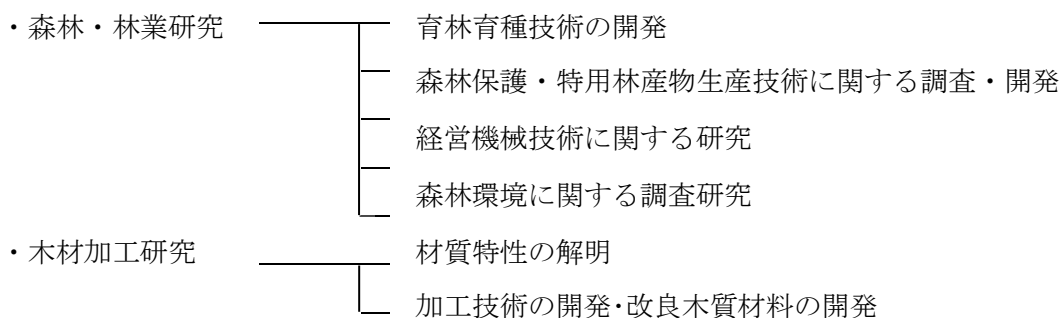
(1) 運営方針

岡山県農林水産総合センター森林研究所は、森林・林業及び木材加工に関する県立の試験研究機関として、本県の林業・木材産業の発展と森林のもつ多面的な機能の持続的な発揮に資するため、岡山県農林水産総合センターの運営方針（平成 24 年 3 月）に基づき、地域における自然的条件や林業生産技術等特性を踏まえ、常に長期的な展望に立った上で、必要な試験研究を行う。

試験研究課題については、森林・林業施策における新たな行政課題に的確に対応するとともに、森林・林業・木材関係者等から広く募集するなど、地域の要請に沿った実用的な試験研究に取り組むことを基本とする。

(2) 試験研究調査の重点課題

次の分野を基軸として課題の重点化と明確化を図っている。



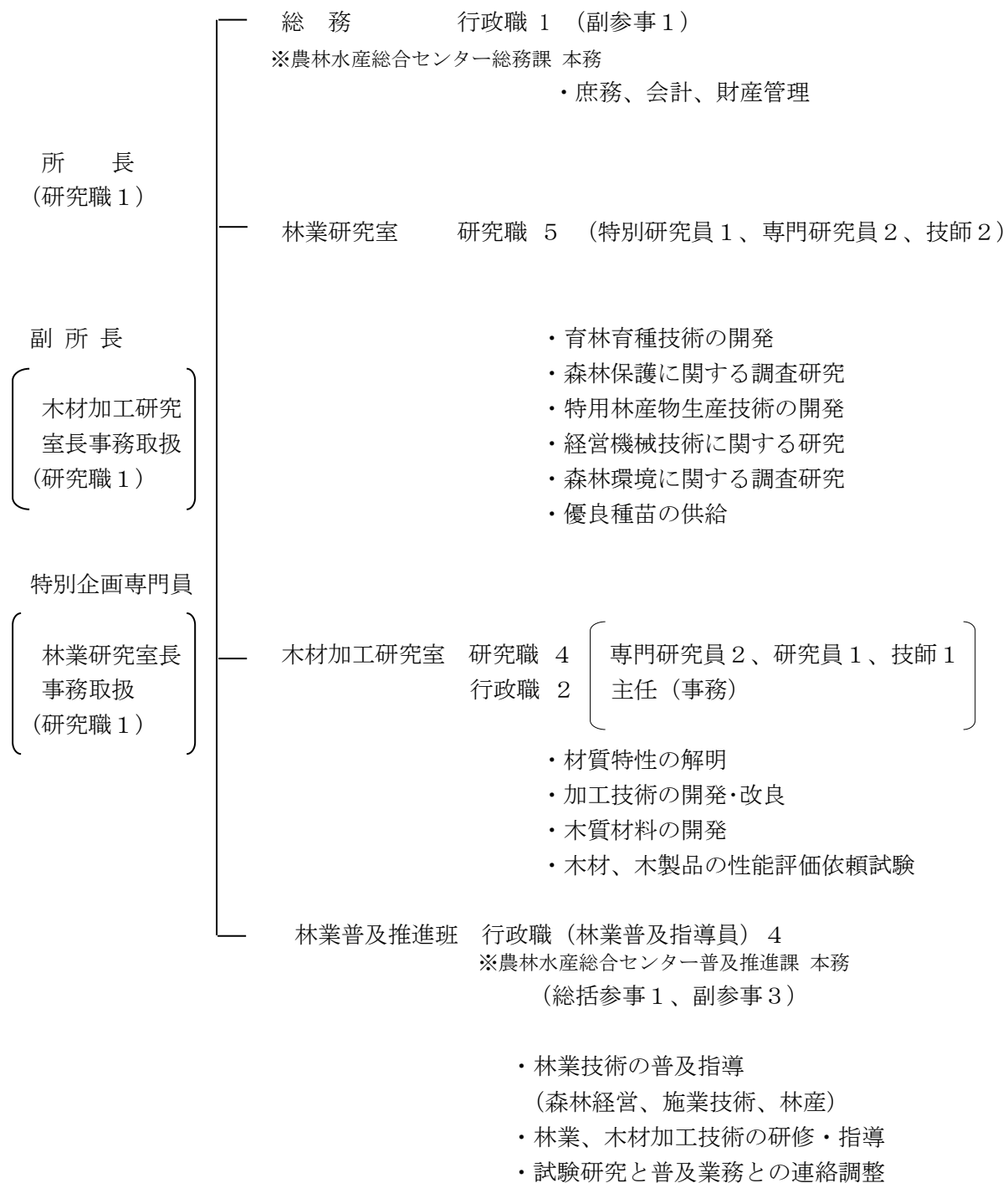
(3) 優良種苗の確保

造林事業に必要な優良な特性を持つ種苗を確保するため、精英樹から少花粉品種を選抜し、普及を図るため、林業種苗法によって指定されている育種母樹林から種子の採取・配布を行っている。

(4) 林業技術普及指導

試験研究及び林木育種の成果を広く普及するため、林業普及指導員と連携して、森林所有者、林業関係者、一般県民等を対象とした技術研修等を実施するなど、林業技術普及指導の拠点としての役割を担う。

2 組織



職員 19 名 (研究職 12 名、行政職 7 名)

3 令和4年度 試験研究調査課題一覧

【単県課題】

区 分	研究課題名（事業名、予算額）	実施年度
育林育種	少花粉品種の種子安定生産技術の確立 [810千円]	R4～R6
	少花粉スギ・ヒノキコンテナ苗の生産技術の確立 [460千円]	R3～R5
	早生樹種の選抜・育成に関する調査研究 [750千円]	R3～R5
	高齢級人工林の資源量推定に関する研究 [500千円]	R1～R5
森林保護	ナラ類集団枯損についての調査研究 [450千円]	R1～R5
特用林産	アカマツを有効利用したマツタケ培養技術の高度化 [439千円]	R4～R6
加工技術の 開発・改良	香りを評価指標とするヒノキ材人工乾燥条件の検討 [380千円]	R1～R5
	ヒノキ大径材丸太の品質評価 [353千円]	R4～R6
	広葉樹の有効利用に関する調査研究 [338千円]	R4～R6
木質材料の開発	C L Tの新たな分野での利用方法の検討 [377千円]	R2～R4
計	10 課題 [4,857千円]	

【共同研究、受託研究、外部知見型・産学官連携研究事業等】

区 分	研究課題名（事業名、予算額）	実施年度
育林育種	花粉症対策品種の円滑な生産支援事業【共同研究】 [240千円]	H29～R6
加工技術の 開発・改良	ポリホウ酸ナトリウムを含有する薬剤を用いた岡山県産ヒノ キ材による不燃木材の開発 [756千円]	R4～R6
計	2 課題 [996千円]	

【継続課題】

区 分	研究課題名（事業名、予算額）	実施年度
育林育種	抵抗性マツの追加選抜	H25～
森林保護	シカ被害軽減に向けた防除技術の研究	R4～
加工技術の 開発・改良	木材・木製品の性能評価に関する研究・調査	H23～
	熱風減圧乾燥装置による構造用製材の人工乾燥技術の開発	H21～
計	4 課題 [101千円]	